

学生有志による旧県庁第三別館の活用案報告会の概要

1. 日程

令和3年2月24日(水) 17時~18時 ※オンラインによる開催

2. 報告テーマ

県庁旧第三別館の今後の活用案について

3. 報告概要

学生自らが行ったアンケート調査などを基に、若者・学生の視点から魅力的なアイデアが発表された。

○活用策を検討するにあたり、これからを担う若者（中高生）からの意見も聞くため若者が何を求めているかアンケートを実施し、「居心地の良さ」、「明るい未来」、「新鮮な体験」という「三つの軸」（キーワード）を基に意見を整理。

○「居心地の良さ」

- ・「落ち着き」（静かで落ち着いた装飾）、「自由さ」（飲食・会話・学習など利用者それぞれの目的で使える）、「自然」（植物がある中庭）がある場所。
- ・具体的には、軽食を取りながら読書や学習ができるような、誰もが利用できるカフェやコワーキングスペース、学習スペースを整備。

○「明るい未来」

- ・目標（夢を持ったとき）、行動指針（何をすべきかわかったとき）、協力者（支援者、後継者が見つかったとき）が感じられる場所。
- ・具体的には、様々な分野のプロフェッショナルによる大会を開催。

○「新鮮な体験」

- ・日常生活であまりすることのない「表現する」という行為により、参加者の新たな価値観やアイデアを育む「芸術の場」として活用。
- ・具体的には、アトリエ・作業スペースやライブスペース(ストリートピアノ等)など。